

103-324

問題文

85歳女性。独居。かかりつけ医を受診し、処方箋を持って薬局を訪れた。薬剤を受け取って帰宅後にこの女性から薬局に電話があり、「薬を飲んだあと首のまわりが赤くなってきた」とのことだった。

問324

薬剤師が行う対応として、優先度が高いのはどれか。2つ選べ。

1. 市販の湿疹用軟膏の手持ちがあれば使用するよう助言する。
2. 息苦しさや唇の腫れなどいつもと違う感じがいないか確認する。
3. 不安に対し時間をかけてカウンセリングを行う。
4. 明日まで様子を見るよう助言をする。
5. 副作用以外の可能性を探るための質問をする。

問325

この患者が、この電話対応から2週間後に来局したとき、相談する相手もなく心細い様子だった。この患者への対応として、適切でないのはどれか。2つ選べ。

1. 患者の気持ちを共感的に受け止める。
2. 患者の話を要約して伝えることにより、互いの理解を確認する。
3. 患者に同情して、薬剤師自身の体験を一方向的に話す。
4. 患者が聞きやすい声の高さや大きさに配慮する。
5. 患者が自由に話しやすいように、閉じた質問をする。

解答

問324 : 2, 5問325 : 3, 5

解説

問324

アナフィラキシーや重症薬疹の 初期症状ではないかをまず確認します。 この場合、迅速な初期対応が求められます。 時間をかけての対応や、 ひとまず手持ちの軟膏で様子を見る といった対応は この可能性を除外してからとなります。 よって、選択肢 1,3,4 は誤りです。

以上より、正解は 2,5 です。

問325

85歳、独り暮らしという背景もあり、自身に起こった変化から不安がつのる傍らで、そのような心境を話す相手がおらず、様子にもれ表れている と考えられます。 このような時に、 その不安を話すことで軽くすることで、 安心して服薬を行うことができるようになります。 この際、ある程度自由に話してもらう ことで「自分の今の気持ちを伝えることができた」という満足感につながります。

これらをふまえ、各選択肢を検討すると、明らかに選択肢 3 は誤りです。 今必要なのは、薬剤師自身の体験 ではありません。

また、選択肢 5 ですが
自由に話しやすいのは、 イエス・ノーでは答えることができない「開いた質問」です。 閉じた質問では、ありません。

以上より、正解は 3,5 です。